

「京都観光振興計画2020」及び「京都市MICE戦略2020」の策定について

京都市では、「未来・京都観光振興計画2010+5」（平成22年3月策定）に基づき「京都で感動した観光客数5000万人」を目標に多彩な施策を推進してきました。

日本において、2019年から2021年の3年間に、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする世界的なスポーツイベントが集中的に開催されることから、世界から日本への関心が高まる機会と捉え、「国際観光都市・京都」を国内外に発信していくため、「京都市観光振興審議会」や市民の皆様、幅広い関係団体等からの御意見をいただき、この度、「京都観光振興計画2020」を策定しました。

また、平成22年に全国の自治体初となる「京都市MICE戦略」を策定し、MICEの誘致を京都市の重要政策として取組を進めてきましたが、今回の計画策定に併せて、これからのMICE誘致の戦略を示した「京都市MICE戦略2020」を策定しましたので、併せてお知らせします。

記

1 「京都観光振興計画2020」について

(1) 計画の名称

京都観光振興計画2020 ～世界があこがれる観光都市へ～

(2) 計画期間

平成26年（2014年）10月から平成32年度末（2020年度末）まで

(3) 計画の目標

- ・ 京都を再び訪れたいという「再来訪意向」、親しい友人に京都観光を勧めたいと思う「紹介意向」について、毎年着実に評価を向上させ、より100%に近づける。
とりわけ、「大変そう思う」の回答割合について、日本人、外国人とも80%以上を目指す。
- ・ 「京都のおもてなし度」について、新たに日本人・外国人にお聞きし、毎年着実に評価を向上させ、より100%に近づける。
とりわけ、「大変そう思う」の回答割合について、日本人、外国人とも80%以上を目指す。
- ・ 外国人宿泊客数年間300万人を目指す。
- ・ 観光に関連する京都の観光消費額年間1兆円を目指す。

(4) 計画の4つの柱

- ・ 人づくり，まちづくり ～おもてなし・やすらぎ・しつらい～
- ・ 魅力の向上，誘致手法 ～きらめき・いざない～
- ・ 魅力の発信，コミュニケーション ～ひびき・ひろがり～
- ・ MICE戦略 ～つどい～

2 「京都市MICE戦略2020」について

(1) 目標

- ・ コンベンション開催件数の世界順位：35位を目指す。
- ・ 外国人参加者比率の国内主要都市順位：1位を堅持する。

(2) 4つの施策

- ・ 開催支援メニューの充実，産学公連携の強化，宿泊・飲食・会場施設等をコーディネートする組織やワンストップ窓口を開設するなど，主催者が京都を選択しやすい環境を整える
- ・ 京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。とりわけ，ミーティング・報奨旅行対策の強化などMICEによる経済効果を最大限にする
- ・ 環境・科学・文化・歴史など世界の平和や人類の未来に貢献する国際会議の誘致を図る
- ・ MICEの開催を通じて都市の活力を向上させる

(参 考) これまでの取組

- 平成26年3月14日 第1回京都市観光振興審議会
5月～6月 分野ごとのワーキンググループ（4回）
6月30日 京都市観光振興審議会部会
7月15日 第2回京都市観光振興審議会
8月11日 第3回京都市観光振興審議会
8月18日 パブリックコメントによる市民意見募集の実施（9月16日まで）
9月24日 第4回京都市観光振興審議会
10月 9日 京都市観光振興審議会から審議の結果報告

※ 「京都観光振興計画2020」及び「京都市MICE戦略2020」の冊子は、以下のホームページからダウンロードできます。

<アドレス><http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000174311.html>